

グローバル教育院企画

2023年度タイ王国 春季短期プログラム
語学 & 熱帯農業・環境研修

2024年2月18日～3月21日

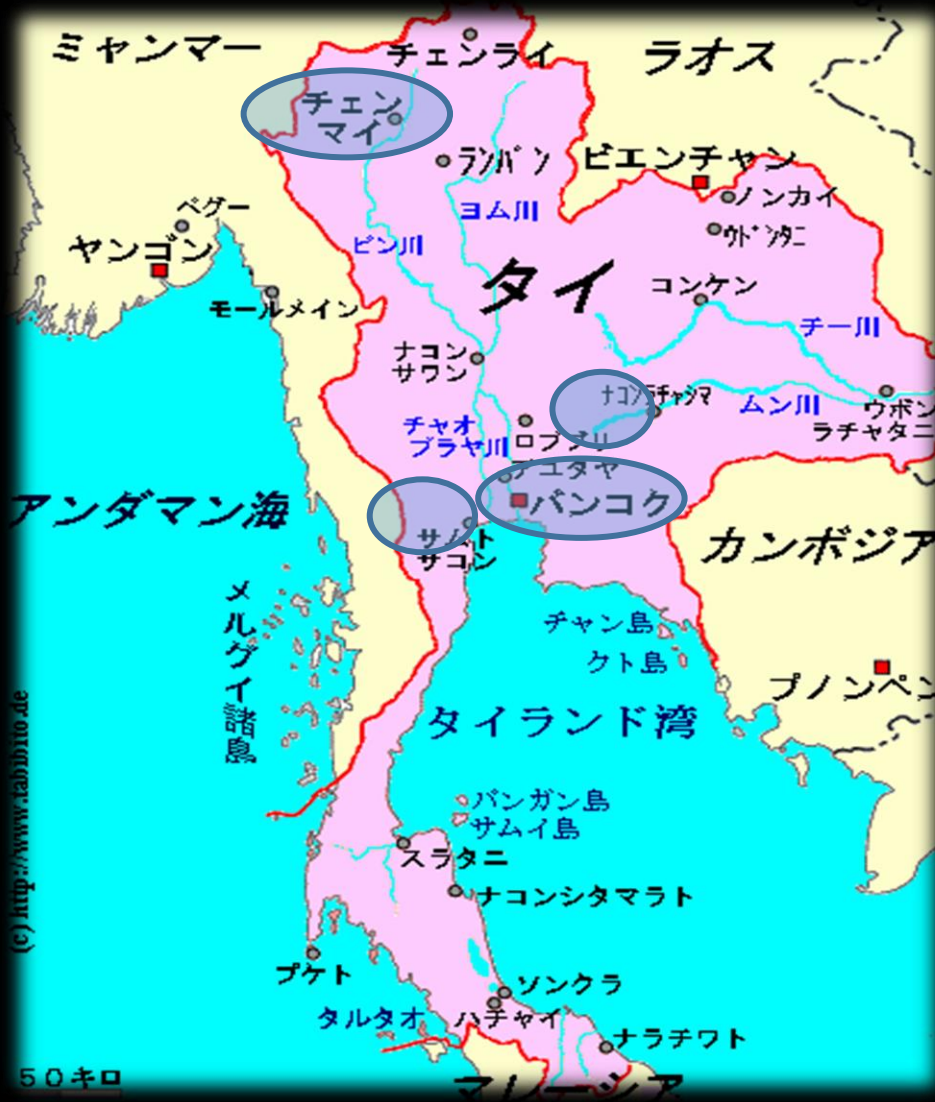
タイ王国（タイ語名：プラテート・タイ／英語名：Kingdom of Thailand）

おはよう、こんにちは、こんばんは สวัสดี サワッディー

*丁寧な表現にするために男性は文末に「クラブ」、女性は「カー」を付ける。



派遣先：タイ王国



訪問場所

- ・チェンマイ
- ・バンコク
- ・パックチョン
- ・カンペンセン

タイはASEANの経済成長の中心地であり、農業生産や食品加工において世界の市場にも大きな影響力を持つ農水産業立国

一口メモ

- * 国土面積は約51万4000平方キロメートル（日本の約1.4倍）
- * 熱帯性気候。年間の平均気温は約29℃
- * 人口 6,609万人(2022年タイ内務省)
- * 敬虔な仏教国 寺院は神聖なる信仰の場所

主な研修目的

- 1) 異文化の人々との協働に必要な**英語力の向上**
- 2) **熱帯農業、熱帯性気候での環境**に関し実践的な**専門知識とスキル**習得
- 3) 社会的課題の解決とイノベーションの創出に貢献できる**グローバル人材**育成
- 4) 海外における**日本のプレゼンス**を学習、体験
- 5) 長期留学や将来的な研究の**海外展開**へのステップ支援



塩田見学



マングローブ植林体験



オーキッド農園研修

プログラム概要

【日程】2024年2月18日（日）(17日夜東京発)～3月21日（木）

チェンマイ：2月18日～3月5日

バンコク、カンペンセンなど：3月6日～3月21日

※3月6日からASEAN地域事務所の教員による帯同あり

（CMUではホテル、KUではホテル、及び大学寮、終盤のバンコクはホテル泊）

【対象】全学部生、大学院修士課程の学生（10～16名）

【費用】

43万円前後 要件を満たした場合は奨学金14万円の支給あり

（航空運賃、研修(講義・実習等)費、現地宿泊費、一部食事を含む）

その他自分で用意する費用：海外保険料、日本国内の交通費、小遣い等

* 為替レートや燃料サーチャージ等の影響で変動もあり得る。

【単位認定】農学部/工学部特別講義（1単位）

チェンマイ大学 Chiang Mai University (CMU)

<研修先> チェンマイ大学語学研究所

- ・ 1964年創立、タイの北部に位置する国立大学
- ・ 非英語公用国における英語教育方に関し評価が高い。
- ・ 北部タイの代表的な都市で、農産物のバリューチェーンに注力、農学に強い。
- ・ SDGsに貢献する研究、教育を実践 <https://sdgs.cmu.ac.th/en/home>
- ・ 2023年QS World University Rankings タイ国第3位

<研修内容> 2024年2月18日（日）～3月3日（日）

- ・ 英語によるプレゼンやスピーチの方法論を学びながら、現地バディ学生と協働し、農学、SDGs 関連の英語力を鍛える。
- ・ 地方農民、山岳民族の生活・文化に触れ、国際社会で必要とされる多様性を学ぶ。
- ・ 大学が目指すSDGsの実態を体験する。

※大学近くのホテル（同性2人一室）から専用車（5－10分）で大学へ通う。



CMU語学研究所

カセサート大学 Kasetser University(KU)

<研修先> カセサート大学農学部

- ・1943年創立、タイの首都バンコクに位置する国立大学
- ・2023年QS World University Rankings タイ国で第5位

農学林学分野で第1位

<研修内容> 2024年3月4日(月)～3月15日(金)

・チェンマイ、パックチョン、タップクワング各研究ステーション、バンケン、カンペンセン両キャンパスを訪問。

・現地大学生と協働し、農業生産、バイオ、スマート農林業、環境、エネルギーなどの分野においてタイで実践的に開発、展開されている技術を学び、現地の課題発見及び解決の方法を習得する。

※カンペンセンキャンパスではInternational House、他はホテルに宿泊。
チェンマイ・バンコク間は寝台列車で移動。他は専用バンで移動。



イチゴの品種改良研修



畜産研修



研修報告会



タイと日本の関係を知る

—TUAT ASEAN事務所によるアレンジ

<研修内容> 2024年3月16日（土）～3月21日（木）

- ・ 在タイ日本大使館、国際農林水産業研究センター、国際協力機構、日本学術振興会、日系企業の工場等を訪問、見学
- ・ タイにおける日本のプレゼンスを知ること、国際人としての素養を磨く。

※バンコク市内のホテル（同性2人一室）、専用バン、及び公共交通機関で移動



国際農林水産業研究センター講演



在タイ日本国大使館研修



マンゴ燻蒸施設見学

応募資格:

- ① 全学部生、修士課程学生
- ② 英語力：中級（CEFR A2）以上
（TOEIC 550-、英検準2級以上 etc.）
- ③ 事前事後研修・報告会に参加できること
- ④ 帰国後、バディ活動等に協力する意思があること

選考基準:

- ① 応募資格を満たしていること
- ② 学力、語学力、申請書、面接の内容に基づいて総合的に評価



- 応募締切： 11月1日（水） 16：00
- 面接選考日： 11月13日（月）～17日（金） 昼休み

もっと詳しく知りたい方へ
説明会

| | | |
|----------|-------------|-------------|
| 10/5（木） | 12:10-12:50 | Zoomオンライン |
| 10/17（火） | 12:10-12:50 | 小金井L1341講義室 |
| 10/19（木） | 12:10-12:50 | 府中1講23教室 |

問合せ先：

グローバル教育院 横森佳世准教授

農学部本館1階GIO、 yokomorikayo@go.tuat.ac.jp

迷ったら、
まずはご相談ください

昨年度参加者から

- 英語研修、実地体験、訪問研修の流れが効果的であった。
- 最初の英語研修で得られた学習成果が、その後の研修に活用できた。
- 長期の留学に向けての動機付けに結び付いた。
- 取り組みたい研究分野が見えてきた。自分の人生設計に役立った。
- 英語研修はスピーキングに重きを置いたプログラムで、発音や抑揚、音矯正や舌の動かかし方など改善でき、話す度胸が付いた。
- 移動が大変だった日もあったが、宿泊場所はホテルが多く快適であった。
- 車での移動は、タイ国の広さを実感した。
- 多くの日本と関連する政府機関、団体、会社を訪問することができ、様々な視点でタイと日本の関係を理解できた。
- 両国の農業・環境・文化などにおける比較ができ、有意義な研修だった。
- 海外で活躍している日本人の方々と話す機会は、これからの自分の人生設計のためになった。
- 事前調査による結果を実体験で検証でき、楽しかった。
- バンコクの公共交通機関を使っでの移動は、土地感ができ、行動範囲が広まり、海外での生活に自信が付いた。
- 現地の学生さん達との交流を、今後も是非継続して行きたい。



先達の想い